

ザルベカラズト

二〇

之ハ殆ド別個ノ問題ト云ヒ得ベシ。元來海員ヲ陸軍兵役ニ服セシムルコトハ制度ノ根本ニ誤アルモノニシテ將來ハ海員ハ總テ海軍豫備員タラシムベク諸法規ヲ改正シ其ノ召集等ニ付テモ相當ノ方法ヲ講ズベキモノナルベシ(六) 船舶ハ其ノ種類、大小、航路ノ如何等ニ依リ機關部員ノ勞働狀態ニ大差アリ如上ノ理由ハ近海航路以上ノ大型船舶ニツキ作業困難勞働過激ニシテ航海日數長ク或ハ氣候ノ變化ノ大ナルコト等ノ爲ニ幼年者ノ機關部ニ於ケル作業ガ本人ノ身心發育ニ有害ナルベキ事實ヲ前提ト爲シタルモノナレドモ、沿岸航路以下一千噸未満ノ小型船ノ場合ニハ其ノ船内作業モ比較的容易ニシテ航海モ短距離ナルベク氣候モ本國ト大差ナク就中之等ノ船舶ハ母國ヲ離ル、コト遠カラザルヲ以テ幼年者ニ及ボス精神上ノ影響ニ大差アルノミナラズ其ノ休養ノ機會モ多カルベク又本人ノ意思若ハ健康其他ノ都合ニ依リ適當ノ箇所ニテ下船シ得ル等ノ便宜アリ。一方幼年二十八歳未満ノ

内ヨリ職業選擇ノ自由ヲ與ヘ及ビ職業的訓練ヲ爲サシムル等ノ利點ヲモ考慮シテ茲ニ最低限度ノ除外例ヲ設クルコト、ナシタリ。

右規定ハ國際協約案ノ形式ニ模シタルヲ以テ沿岸航路等ノ字句ヲ使用シタリジ、ユ、ネ、ツ、會議ガ本案ヲ可決シ他日各國ガ其ノ趣旨ニ應ジテ法規ヲ制定スベキ場合ニハ宜敷各國ノ事情法制ニ應ジ其ノ範圍ヲ決定スルヲ可トスルノ趣旨ナリ。

(乙) 乙ニ就テハ別ニ理由ヲ説明スベキ必要ナカルベキヲ以テ之ヲ省略ス

(參考) 本調査會ニ提出セラレタル草案ニハ左ノ如キモノアリ、爲參考之ヲ添付ス

草案要領

左記要領ノ國際規約ヲ爲スヲ妥當ト認ム

本協約ニ批准スル締盟國ハ左ノ各條項ノ趣旨ノ實施ニ必要ナル法規ヲ制定シ千九百二十三年ヨリ之ヲ施行スベシ

(甲) 十八歳未満ノ者ヲシテ船舶ノ火夫又ハ石炭夫トシテ其ノ勞働ニ從事セシムルコトヲ得ス但總噸數三千噸未満ノ沿岸若ハ湖川港灣航行ノ汽船ニシテ連續三晝夜以内ノ航海ヲ爲ス場合ハ此限ニ